

第15回 留学生里親・里子だより

●「留学生さとおやの会事務局」 〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 (株) サクラレバス内
 TEL: (06) 6910-8800 FAX: (06) 6910-8837 2011年9月発行

2011年 対面の会

司会を担当して

2011年度の「留学生さとおやの会」対面の会が今年も6月25日に大阪商工会議所で行われました。今年は司会の大役をいただいており、当日アシスタントをお願いしている中国の留学生「王洋 (ワン・イヤン)」くんと念入りな打ち合わせを行い、緊張の中、会がスタートしました。

例年通り、西村代表幹事の挨拶の後、ご来賓の大阪商工会議所 理事 国際部部長の上月康嗣氏にご挨拶いただき、その後里親さんと里子さんとの対面が始まりました。里親さんは毎年の事にて余裕が見られましたが、ワン・イヤンくんの紹介で呼ばれた里子さんには緊張の為か少し不安そうだったのが、ご家族と出会えた瞬間すぐに笑顔に変わっていくのがわかりました。昨年は里親席にいた私ですが、今回は司会者席という立場から違った雰囲気を感じることができ、記念写真も微笑ましく見えました。

私どもふれあい独楽では皆様とは違って家庭的なお付き合いはできませんが、ふれあい独楽のイベントやコンサート等の参加で、交流を深めております。個人的な事ですが、毎年新たな出会いで思い出がたくさん増え、里親さんとの交流も深まり、毎回お会いするのを楽しみにしています。



ふれあい独楽
橋本 友子

この「留学生さとおやの会」を微力ながら、いつまでもお手伝いを続けることができましたら、と思います。この度の司会進行役を無事果たせましたこと、皆様に感謝申し上げます。



司会から思い出した、思いついたこと

この間、バイトや授業などで久しぶりに連絡していない里親の田仲さんから連絡をもらって、里親と里子の対面式の司会を担当するのを頼まれた。喜んで「やります」と答えた。普段では人見知りの私にとっては、みんなの前で司会をするのは想像にもつかなかったが、今回は違う自分をやってみたいと思う。自分にとってのチャレンジといってもいいであろう。

対面式の前の日の夜、興奮し過ぎて寝られなかった。朝早く起きて、元気満々で会場に向かった。途中で田仲さんの乗った電車は事故で遅れることを知って、ちょっと緊張していたが、早く司会の状態に入って、会場に着いてから、当日一緒に司会をする里親の橋本さんと準備を始めた。私の仕事は留学生の名前を日本語または中国語に通訳することである。たいしたことではないが、ちょっと緊張した。準備していたところ、インドやフランスからの留学生の名前の長さに驚いて、「順調に読めるかな」と思った。

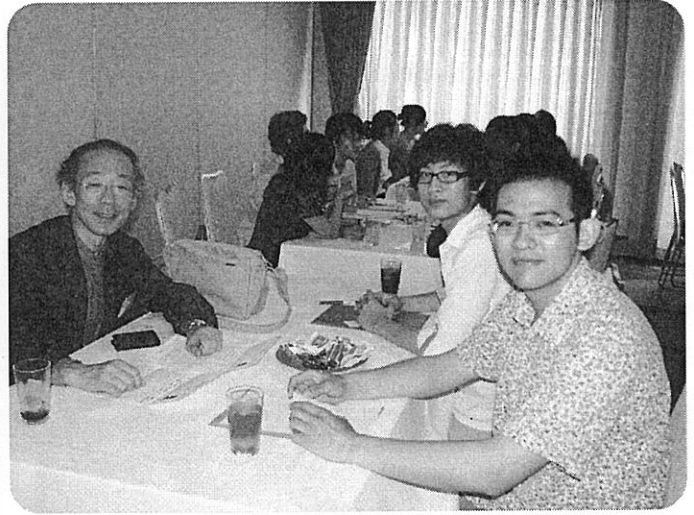
留学生の到着にしたがって、対面式が始まった。ステ



王 洋(中国)

ージに立った私は留学生のみんなを見て、二年前の私の影を見たような気がしていた。日本にきたばかりの当時の私は、この新しい国に好奇と未知をいっぱい持っていた。日本人と話すことにさえ怖がった私は今日本人とべらべらしゃべれるようになっていく。大きな勇気を出さないといけないのである。司会は順調にできた。その後、私は田仲さんと合流して、新しい里子といろいろ話した。二年前の私と話していたようだな。

日本に来る留学生の先輩として、後輩に対して言いたいのは、この斬新な国土に踏み込んだ時、誰でも不安を感じるがあると思う。来たからにはこの新しい生活にできるだけ早く慣れることが一番大事である。時間を無駄せずに有意義に過ごせるために勇気を出して、いろんなチャレンジに取って、本当の自分をみんなに見せて、頑張れ！



留学生さとおやの会

昨年度より『留学生さとおやの会』に入会させていただきました。子供のいない私が、果たして役に立つのか自信がありませんでしたが、大変礼儀正しい留学生だったので、すんなりと日本のママになって貴重な体験をさせていただきました。

私には様々な年代の友達がありますが、留学生との交流を通じ、若者の柔軟性には改めて感心させられました。国籍を越え、言葉の不自由さをものともせずコミュニケーションを図って、多忙な私に替わって里子の面倒をみてくれました。子供同士で遊びに行ったり、お互いの友達を紹介しあったりして、友達の輪が広がったようです。

日本を好きになってもらいたい、日本の家庭の味を楽しんでもらいたいと思い、和食の手料理で誕生日パーティーを開催しました。里子には仲のいい友達を招待するように言って大勢で楽しみました。私の誕生日は、バイキングレストランで開催しましたが、里子だけでなく、その友達までもがプレゼントを準備してくれていて大変感激しました。このところ自分の誕生日にパーティーをすることなどなかったので、多くの友人に誕生日を祝ってもらうことができ、人の温かさが身にしみました。心が満たされると、仕事にもいい影響が出て、本当に良い年を過ごすことができました。

里子は、念願となって日本での就職ができました。しかし、その友達は、就職活動を色々お手伝いしたのですが、残念ながら就労ビザが下りずに本国に帰りました。自分の子供が強制退去させられたような気分になりました。今後、留学生のキャリアパスが大きな課題となってくると思いますので、国や企業が留学生に就職の門戸を開いていただきたいと切に願います。これからも、海外と日本との架け橋の一部になれるよう、留学生を温かく迎え入れたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。



的場 佳子(大阪市)



元留学生のその後

私のライフワークの一つに「留学生、研修生の里親」という仕事があります。知らない間にスタートして四半世紀が過ぎました。

今では世界各地に「お母さん」と呼んでくれる子供達が40人ほどいます。年末にはたくさんのクリスマスカード（最近はおっぱらパソコン）、結婚しました、子供が産まれました等など楽しい連絡が入ってくるとずっと続けていて良かったと思います。

先日も20年ほど何の連絡もなかった韓国の留学生がFacebook（ネット交流サイト）で私を見



太田 百合子(堺市)

つけ、連絡してきました。近いので会いに行きましようと言ったものの少々心配でした。でも釜山の空港に素敵な家族を連れ出迎えてくれているその顔を見たたん、私の不安は一瞬にして吹っ飛びました。積もる話に長い空白の時間が一日にして埋まりました。又以前、毎年日本企業のタイ工場からの研修生を引き受けていましたが、私達がバンコックに行った際、数人が家族を連れ逢いに来て盛大なパーティーを開いてくれました。留学後日本に残り就職、結婚している元里子とは逢う機会もありますが、帰国してしまうとどうしても疎遠になってしまいがちです。幸いなことに最近インターネットを媒体として連絡も取りやすくなり、毎日チャットをしたり写真をアップしたりでその距離感はずいぶん縮まりました。



しかし再会となるとなかなか難しいこともあります。以前に比べ日本への留学生の数は確実に減少してきています。何がそうさせているのか、今の日本の経済情勢はさておき、私達ボランティアレベルは留学生にとって魅力ある日本にするには何ができるのか、ささやかなことから考え直す時かもしれません。

〈〈里子たちのその後〉〉

今までに、いろいろな国の里子さんたちに出会ってまいりました。日本語学校や専門学校、大学、大学院を卒業した後、その後どんな方面に進まれて行くのでしょうか。当初の予定通り進む子、途中で方向転換する子、様々です。思った方向に流れていかないように見えていても、後から思えばそれがその子に合っていたかなと思えたりしています。

里子さんのその後は、里親として非常に気になることです。お持ちの情報を差し支えの無い範囲で公開していただければ、里親さんにも里子さんにも何かのご参考になるのではないのでしょうか。

事務局の方にご連絡お待ちしております。

ご参考まで、私の連絡の取れている何人かの里子のその後を紹介したいと思います。

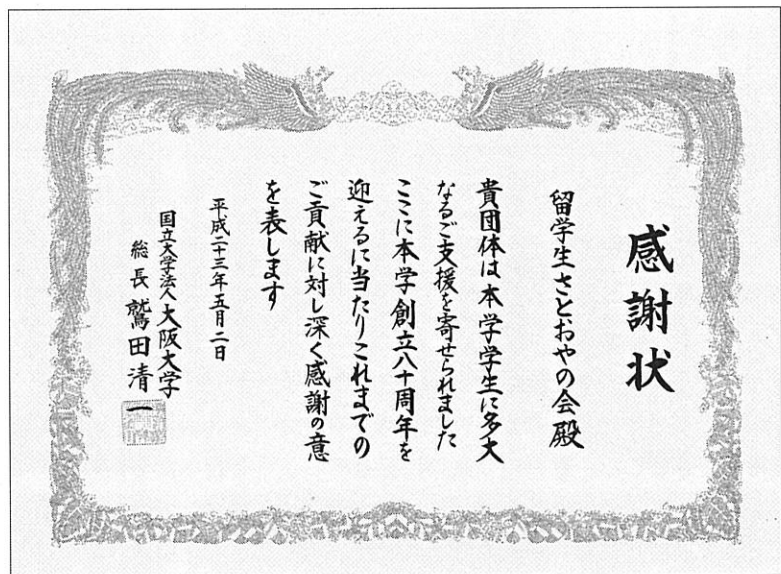


幹事
田仲 八重子
(高槻市)

- 李 長伍 (中国) 男 : 日本の建設会社勤務 通訳として入社したが今は通常の勤務
日本の永住権取得、日本女性と結婚
- 鄭 恩朱 (韓国) 女 : 服飾の専門学校卒業、イタリア・ファッションブランド東京本社勤務
大阪出張で月に1度は来阪
- 可 玉琴 (中国) 女 : 厳しい就活の後、本年4月より大阪の宝石貿易商社へ就職
東京、香港と出張活躍
- トム (ベトナム) 男 : ベトナムで日本語学校スタッフ・講師
- ディネスライ(ネパール) 男 : 日本語学校卒業後、東京でインド・ネパール料理店を友人と開店
ネパールの妻と子どもを呼び寄せる
- 呉 良 (中国) 男 : 大学卒業後、帰国結婚 日系の銀行勤務
- 葉 晏伶 (台湾) 女 : 日本人と結婚 在大阪 今年5月男児出産

感謝状をいただきました

5月2日、創立80周年を迎えられた国立
大学法人大阪大学様より、留学生さんとお
やの会宛に感謝状が届きました。



編集 後記

今年の対面の会も無事終了し、33名の留学生を迎えることができました。これにひとえにお引き受けくださる里親の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。この交流がお互いにとって思い出深い、素敵な出会いになります事をお祈り申し上げます。

幹事の田仲さんの原稿にありますように、里子さんのその後を会報誌紙上で報告してはどうか？という事になりました。留学生にとっても励みとなり、里親さんにとっても参考になるのではと思います。ぜひ情報をお寄せいただきたいと共に、ご意見等ありましたらご連絡いただければと思います。

来年は発足10周年になります。10周年に向けて更に充実した会にしていきたいと思っております。お知り合いの方で、留学生と交流いただける方をご紹介しますよう、よろしく願いいたします。
(事務局)